

01-150905

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案

## ⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1

A 61 B 3/12

A-6840-4C

審査請求 未請求 請求項の

⑮ 考案の名称 手持ち式検眼鏡

⑯ 実 願 昭63-45296

⑰ 出 願 昭63(1988)4月5日

⑱ 考 案 者 金 上 貞 夫 東京都練馬区早宮3丁目14番10号

⑲ 考 案 者 伊 藤 紘 祐 愛知県豊橋市大脇町74-243

⑳ 出 願 人 興 和 株 式 会 社 愛知県名古屋市中区錦3丁目6番29号

㉑ 代 理 人 阿 部 正 雄

## ㉒ 実用新案登録請求の範囲

被検眼眼底を照明するための光源と、該光源から発した光を集光させるための少なくとも2個のレンズから成る第1のレンズ群と、該第1のレンズ群を透過した光源からの光束を被検眼方向へ反射させるための反射部材と、被検眼眼底からの反射光を透過させるための第2のレンズ群と、該第2のレンズ群の光軸上の後方に被検眼眼底像を結像させるための第3のレンズ群と、前記結像を拡大観察するための接眼レンズとを備えた手持ち式検眼鏡において、

前記第3のレンズ群の後方に近接して半透過鏡を斜設し被検眼眼底からの反射光の一部を前記結像位置と共役な点で且つ前記反射部材に隣接した位置に配設したCCD受像素子の面に結像させると共に、該受像素子によって光電変換された出力

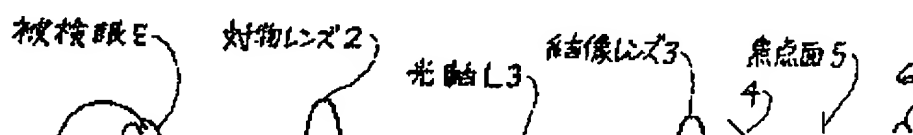
信号を外部モニター手段へ送るように構成したことを特徴と鏡。

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案の検眼鏡の光路図、第2図は別の実施例の光路図、第3図は第1図の光路図である。

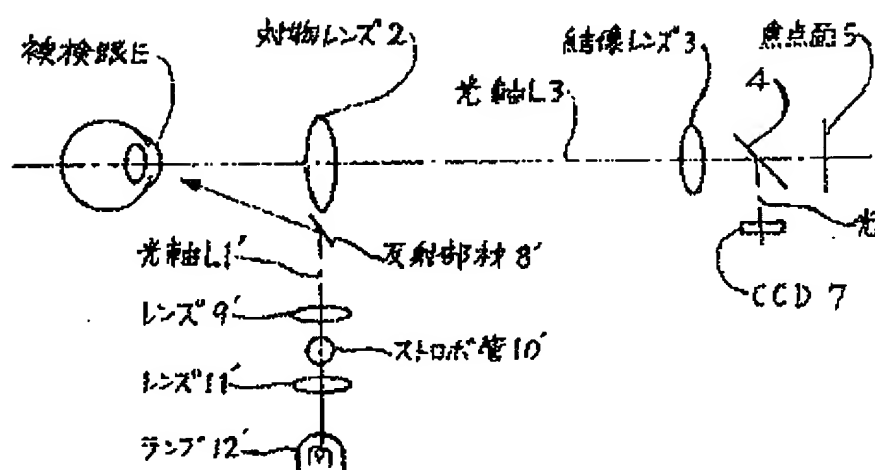
2……対物レンズ、3……結半透過鏡、5……焦点面、6……CCD受像素子、8、8'……物レンズ、11、11'……ストロボ管、12、12'……物レンズ、16……ハーフミラ、20……結像面、D……被検眼、E……被検

第 1 図  
本考案の検眼鏡の光路図



実開 平 1 -

第 2 図  
本発明の他の実施例



第 3 図  
従来の検眼鏡の光路図

